

医学研究実施について

当院では下記の研究を実施しております。この研究は水戸協同病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、お手数ですが下記の連絡先までお申し出下さい。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が、研究期間以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承下さい。
同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

1. 研究課題

特発性脊髄血腫における硬膜外・硬膜下血腫の術前画像診断精度向上に関する後方視的研究

【研究計画の概要】

○目的

脊髄に発生する血腫(出血のかたまり)は、まれではありますが、手足の麻痺などを引き起こす病気です。血腫が「硬膜下(こうまくか)」にできる場合と「硬膜外(こうまくがい)」にできる場合とで、手術の方法が異なりますが、術前の画像(MRI)で両者を見分けることは難しいとされています。

本研究では、過去に当院および関連施設で手術を行った脊髄血腫の症例を見直し、MRI 所見がどの程度信頼できるか(再現性・一致性)を調べることを目的としています。

○研究期間

倫理委員会承認日～2027年3月31日(予定)

(調査対象期間:2014年4月1日～2025年3月31日)

○対象となる方

2014年4月から2025年3月までの間に、水戸協同病院で、**脊髄硬膜下血腫または硬膜外血腫の手術を受けた方**が対象となります。

○研究に利用する試料、情報

診療録(カルテ)に記録された情報を用います。

具体的には以下の項目を利用します。

- 年齢、性別などの基本情報
- 画像検査結果(MRI、CTなど)
- 手術記録(血腫の位置・所見など)
- 神経学的所見や経過
- 検査データ(必要最小限)

これらの情報はすべて匿名化(個人を特定できない形)して集計します

○倫理的事項

本研究は、診療で得られた情報を用いた**後ろ向き観察研究**です。

新たに検査や治療を行うことはありません。

患者さまの個人情報は、連結不可能な匿名化を行い、個人が特定されることはありません。

本研究は、水戸協同病院倫理委員会の承認を受けて実施します

○その他

この研究に参加されることで新たな費用は発生せず、謝礼などの支払いもありません。

研究により得られた成果は、学会や医学雑誌などで発表されることがありますが、個人が特定されることはありません。

本研究は筑波大学附属病院との共同研究として実施します。

【問い合わせ先】

水戸地域医療教育センター・水戸協同病院 整形外科

研究責任者:奥脇 駿(おくわき しゅん)

電話:029-231-2371(代表)